

アジア在住23年 小松進さん(68期)が講演

9月1日(土) 関西同窓会総会・懇親会

関西同窓会の第22回総会は9月1日(土)、大阪梅田の大阪マルビル・大阪第一ホテルで開催されます。今年の講演会は、シンガポール在住でアジア8カ国に現地法人を持つ電子部品販売会社を経営する小松進さん(68期)が講師です。

小松さんはアジア在住23年、会社経営を通じて東南アジアを中心にアジア各国の事情に精通しています。海外で起業し活躍する小松さんの経験を「平成の和僑、華僑の知恵と力に支えられアジアで活躍」と題して講演いただきます。

産業の空洞化に悩まされて活力が失われつつある現代日本。今後、アジア各国とどのように関わって行きたいのか。小松さんの講演は日本の将来についてもヒントを与えてくれるでしょう。多数の皆様のご参加をお待ちします。

上田高等学校
関西同窓会報

第35号

2012年(平成24年)
7月17日(火曜日)

発行 上田高等学校関西同窓会
編集 同 広報委員会



《講演会》 「平成の和僑 華僑の知恵と力に支えられアジアで活躍」

《講師》 GSKエレクトロニクス(株)社長
小松 進 さん(68期)

講師のプロフィール

昭和26年生まれ、上田市出身
昭和49年3月 信州大学工学部卒業
昭和49年4月 富士電機(株)入社、6月名古屋支店営業所配属
平成2年10月 富士電機シンガポール(株)取締役として転勤。
平成7年3月 富士電機(株)を退社し、GSKエレクトロニクス(株)を設立し電子部品販売会社を起業。
平成24年4月現在、アジア8ヶ国(シンガポール・マレーシア・インドネシア・タイ・ベトナム・中国・香港・日本)の8拠点に現地法人を設立。従業員80名、年商45億円

講師のメッセージ

これまでの体験とアジアの現状・将来展望をお話します

成長著しいアジアに賭けた私の決断

私は44歳の時、勤めていた富士電気シンガポール(株)を退社し独立、起業しました。きっかけはシンガポールに駐在して5年目に会社から国内へ転勤の打診があったためです。日本へ帰るか、成長著しいシンガポールに留まるか、岐路に立たされた私は、失敗するリスクが大きいにも関わらず、シンガポールで起業する道を選びました。

それから17年、おかげさまで事業は成功裏に拡張し、アジア8ヶ国(シンガポール・マレーシア・インドネシア・タイ・ベトナム・中国・香港・日本)の8拠点に現地法人をもつ電子部品販売会社に成長しました。

会社発展の要因を考えると、アジア地域が世界の工場として

発展を遂げる流れを読んで、各地に営業拠点を設けたことです。拠点を設けるにあたって、未経験の若い人材を採用し仕事を任せました。彼らは商売上手な華僑の血を引く人材で、会社の発展に大きく寄与してくれました。

各国のお国柄を尊重する経営

アジア各国にはそれぞれのお国柄があります。各支店は従業員の国民性に配慮しながら独立性を認めて経営しています。

アジア在住23年、華僑ならぬ和僑となった私が、関西同窓会のみなさまにこれまでの体験と、アジア特に将来性いちじるしい東南アジア各国のお国柄と国民性、その歴史・現在・将来展望をお話させていただきます。

◆第22回総会・懇親会案内◆

- 【とき】 2012年9月1日(土)
受付開始 10:00
定期総会 10:30~11:00
講演会 11:10~12:10
懇親会 12:30~15:00
- 【ところ】 大阪マルビル・大阪第一ホテル
大阪市北区梅田1-9-20 (☎06-6346-0007)
総会:6階「マーキス」 懇親会:同階「モナーク」
- 【会費】 会員 7,000円 初参加会員 5,000円
ご家族 6,000円 学生会員 3,000円





歴史の重みを 改めて感じます

学校長 小林 一雄

前回はエンジュの樹について特別に書かせていただきありがとうございます。校地東北隅のエンジュにつきましては、本年3月に約1週間ほどかけて、危

ない枝を払い、腐れの入らないよう幹を補修し、根の周りも貝殻を入れて手当ていたしました。

ワイヤーも数本掛けてありますので、多少の強風に

はびくともしない状態になっていきます。業者の樹木医の方には、老齢なので十年ぐらいかけてしっかり養生してほしいといわれています。おかげさまで上田高校の歴史的遺産について後世に残せるとともに、倒潰の危険もなくなりました。

4月には、57期の方々が上田高校の校地の由来を、学校東南の敷地内にあるミニパークに石碑として立てて下さいました。その中に、真田信之公以降藩主屋敷として使用された旨が書かれています。真田信之公という名前がはつきり入るのは、上田高校の周囲の案内板等では初めてです。

これは上田市なども相談した結果ですが、学校としても合わせて生徒手帳の記述を、これと整合の取れるものとしたしました。それ以前の生徒手帳は、真田昌幸公の館として建てられたという記述になっておりました。度々外部の方からもその適否についてご指摘を受けていましたが、どうも昌幸公の館という説を積



極的に裏づける根拠に乏しいようですので、記述を改めたところで。いずれにしても、昌幸公でも信之公でも、真田氏の土地を真田氏のものとして守ろうという気持ちに変わりがあろうはずがないですし、地方の小勢力であろうとも、決して中央のもの、権威あるものに、それだけで負けるものではないという心意こそ上田高校

生のもつべき心意だといふことは校歌にも歌われていることですので、本校の歴史を学ぶことで生徒諸君も、ますます自信を深めていただければと思っております。

信大合格者数は全国トップ

進路指導主事 小岩井 秀樹

東日本大震災と原発事故、円高、ユーロ危機等で、日本はデフレ不況から抜け出せない。受験生の父母の経済状況も、好転する気配はない。2012年入試は、このような状態の中で考えなければいけない。このような経済・社会状況から、「安い・近い・中位」志向が強まった。

センター試験では、出題方法の変更、理科・地歴公民の実施方法変更、大学の第一解答科目指定等により混乱が生じ、全

国的には受験生が振り回された。本校現役生のセンター試験会場は地元・上田市内の長野大学であったが、大きなトラブルはひとつもなく落ち着いて受験することができた。

2012年入試の結果は、旧帝国大学合格者22名(うち現役11名)、国立医学部医学科11名(4名)、信州大学48名(36名)など、国立全体では229名(133名)が合格し、私立大学では早稲田大学22名(5名)、慶應義塾大学8名(2名)、私立医学部医学科7名など、中でも地元の信大は本校が全国トップの合格者を

出した。

4月29日付「サンデー毎日」の特集「国立大学医学部に強い高校地域別ランキング」では、「甲信越地区」で本校が取り上げられ、5月19日付「週刊ダイヤモンド」の特集「大学合格力」で、長野県内では2番にランキングされている。

同窓会の皆様には「社会講座」、「卒業生による進路講演会」等の行事をはじめ、物心両面において多大なご支援をいただいております。今後ともよろしくお願い申し上げます。

入学体面式の

パフォーマンスにびっくり

上田高校に赴任して

全日制教頭 宮坂 栄治



年度末の異動により赴任いたしました全日制教頭の宮坂と申します。よろしくお願ひ致します。

入学式が終わって対面式の時のこと。ダンスあり、パフォーマンスありで現代っ子とはこういうものかと同窓である私もびっくりしました。しかし、生徒会中心の自主的な企画運営はさすが上田高校生だと感じました。

日常は真剣に教師の話聞き、高い目標を持つて意欲的に学び生き生きと活動する姿は、当時と変わらぬものであります。

台湾の高校生と交流 五月中旬、台湾の苗栗高級中学(日本の高校にあ

たる)のみなさんと交流する機会に恵まれました。同校は本校のOB(明治43年卒業)が初代校長を務めた学校です。そのことが縁で3年前に初めて来校し交流会が行われました。昨年度は東日本大震災の影響があつて中止となりましたが、今回は副校長先生を団長に22名の皆さんが来校されました。

体育館において歓迎セレモニーを行い、室内楽

大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年	大学名	12年	11年	10年
国立大学				公立大学				桜美林	3		1	日本女子	3	3	3
帯広畜産			1	宮城		1		学習院	5	1	2	日本女子体育	1		
北見工業	1			茨城県立医療		2	1	北里	18	7	7	法政	26	24	25
北海道	1	2		国際教養				共立女子	3	2	2	星葉科		2	3
北海道教育		1	1	群馬県立女子	2			杏林	5	6	2	武蔵	1	8	2
東北	13	8	6	高崎経済	9	13	10	国立音楽	3			武蔵野	9	2	
秋田	2			前橋工科	2			慶應義塾	8	12	21	武蔵野音楽	2	1	
山形	1	1	4	埼玉県立	3	1	2	工学院	1	2	2	武蔵野美術		2	2
茨城	3	4	3	千葉県立保健医療			1	國學院	3	3	4	明治	28	35	31
筑波	5	3	5	首都大学東京	8	10	9	国際基督教		2	2	明治学院	17	17	6
宇都宮	1	1	1	神奈川県立保健福祉	1			駒澤	6	8	7	明治薬科	2		5
群馬	7	2	7	横浜市立	1	3	3	実践女子	3	2		明星	2	4	
埼玉	13	9	10	新潟県立	1	2		芝浦工業	16	16	14	立教	12	22	10
千葉	12	10	9	富山県立	2			順天堂	1	3	3	早稲田	22	24	24
お茶の水女子	3	1	1	石川県立	1			上智	2	9	1	麻布		2	1
電気通信	4	2	2	福井県立	2	1		昭和	1	3	2	神奈川	1	2	7
東京		4	5	都留文科	2	2	1	昭和日本女子	3		4	関東学院	1	1	1
東京医科歯科	3			山梨県立	1		1	昭和薬科	2	1	2	昭和音楽	1		
東京海洋	1	3	1	長野県看護		1		女子美術	1	1	2	フェリス女学院	1		1
東京外国語	1	3		岐阜薬科	1		1	成蹊	5	7	3	横浜薬科	1		2
東京学芸	7	11	5	静岡県立	1		2	成城	2	8	4	新潟医療福祉	2		4
東京工業	2		1	愛知県立		1		専修	17	15	13	新潟薬科			1
東京農工	2	1		愛知県立芸術			1	創価	1	7	4	金沢医科			1
一橋	1		1	名古屋市立		1		大東文化		2	5	金沢工業	2		
横浜国立	6	7	5	滋賀県立	1			玉川	2		3	北陸	1	1	2
上越教育	1	1		京都府立		2	1	多摩美術			3	佐久	2	2	2
新潟	6	7	9	大阪府立	1		2	中央	28	50	31	諏訪東京理科	2	1	
富山	12	4	7	神戸市外国語			1	津田塾	2	2	3	長野	1		1
金沢	9	10	12	奈良県立		2		帝京	6	5	3	松本歯科	1	1	
福井	1	1		奈良県立医科	1			東海	3	8	3	岐阜医療科学	1	1	2
山梨	4	3	3	公立大学計	39	43	36	東京医科			1	岐阜聖徳学園	1		
信州	48	48	35	私立大学				東京医療保健	1		1	愛知医科	1		1
静岡	8	4	5	酪農学園			2	東京音楽	2			愛知	1	1	
浜松医科	1			岩手医科			2	東京家政	1	1	2	中京	2		
名古屋	1	5	4	東北薬科		1	1	東京経済	4	1	3	名古屋外国語	2		1
名古屋工業			1	国際医療福祉	5	4	7	東京工芸	2		2	藤田保健衛生	1		
三重			1	自治医科	2	1		東京慈恵会医大	1		1	京都外国語	2		
滋賀		1		獨協医科	2		2	東京歯科	1		1	京都産業			2
京都	2	2		群馬パース	2			東京女子	2	6	6	京都女子	2	5	
大阪	2	3	1	高崎健康福祉	5	1	1	東京女子医科			1	同志社	5	3	3
大阪教育	1			埼玉医科		1	3	東京造形	1		1	同志社女子	1	3	1
神戸	2	1		埼玉工業	2			東京電機	3	5	2	立命館	28	27	10
奈良女子	1			城西	1	2	3	東京都市	3		1	龍谷	2	2	
岡山		1		女子栄養	2	1	1	東京農業	3	4	3	関西	7	3	1
広島		1	1	獨協	5	11	8	東京薬科	6	2	3	近畿	2		1
九州		1		文教	5	3	8	東京理科	28	31	15	関西学院			4
福岡教育			1	神田外国語	1	3	1	東邦	4	5	4	福岡	1	1	1
熊本	1			帝京平成	1		1	東洋	17	7	7	その他	13	11	19
琉球	1			青山学院	14	18	11	日本	21	19	26	私立大学計	518	531	457
国立大学計	190	167	147	亜細亜	3			日本医科		1					
				大妻女子	2	1	2	日本社会事業	3						

上田高校NOW



苗栗高級中学の皆さん

班による演奏、そして苗栗高級中学の皆さんの出し物もありました。驚いたのは本校校歌を大きな声でしっかりと斉唱してくれたことでした。この日のために授業が終わったあと毎日練習をしてきたのだそうです。

その後、本校生と班で作って校内見学をしたあと、上田市内を散策し上田城に集合しました。時間が足りなくなる程でしたが、台湾の生徒たちはもちろん、参加した生徒たちにもたいへん良い思い出になったことと思います。



百年を思うものは人を育てよ

「百年を思うものは人を育てよ」という言葉があります。本校創立百十年有余年の伝統の重みを感じながら、これからの発展の礎を更に強固にしていきたいために、職員とともに歩んでいこうと覚悟をしています。

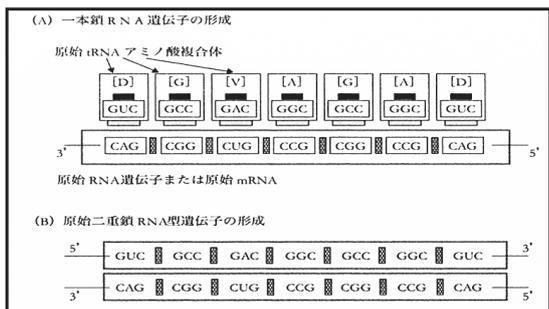
現在、「生命の起源」に関する主流の考えは、遺伝子(DNA)とタンパク質の間に見られる「ニワトリと卵」の問題(図2)(DNAがないとタンパク質ができないし、タンパク質の触媒作用(酵素)がないとDNAの機能を発揮できない)を解決するために提唱された、「生命はRNAの自己複製により形成されたRNAワールドから生まれた」とのRNAワールド仮説(図3)である。

しかし、RNAはもちろんのこと、RNA合成の材料であるヌクレオチドを非酵素的(タンパク質無し)に簡単な無機化合物から合成することができない(少なくとも極めて困難)し、RNAが自己複製することも極めて困難であること。さらに、自己複製したRNAが遺伝情報を持つことも不可能であることなど、RNAワールド仮説には大きな欠点がいくつもあることが分かってきた。

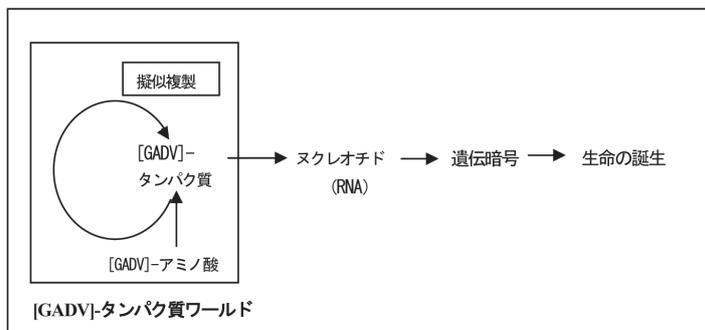
私の生命起源説

それに対して、私は20種類のアミノ酸で構成されるタンパク質の持つ6つの性質(疎水性/親水性度、 α -ヘリックス、 β -シート、ターン/コイル形成能、酸性アミノ酸含量、塩基性アミノ酸含量)をもとに、全く新たな遺伝子が生まれる場を調べた。その結果、二重らせんDNA内の相補的塩基対であるGC対、AT対のうち、「GC対を多く使用する遺伝子のタンパク質をコードする反対側の鎖(アンチセンス鎖)上のコドン(塩基3つで1つのアミノ酸を指令)配列から全く新規な遺伝子が生み出される」とのGC-NSF(a)新規遺伝子生成仮説に思い当たった。

続いて、「遺伝暗号は、20種類のアミノ酸の中で、構造が比較的簡単な4つのアミノ酸(グリシン(Gly) [G]、アラニン(Ala) [A]、アスパラギン酸(Asp) [D]、バリン(Val) [V])をコードするGNC(塩基3つで1つのアミノ酸を指令、NはA、U、G、C、のいずれか)から始まり、SNSを経て(SはGまたはC)現在の普遍遺伝暗号へと至った」というGNC-SNS原始遺伝暗号仮説に、そして、「タンパク質の構造形成条件を満足する特別なアミノ酸組成の中ならアミノ酸をランダムに結合させても水溶性で球状のタンパク質を形成できる」というタンパク質の0次構造仮説に思い至った。これらのことから、「疑似複製されたタンパク質の触媒作用(酵素)によりオリゴヌクレオチドが合成され、対応するアミノ酸との特異的結合によりGNC原初遺伝暗号が確立された。続いて、隣り合うGNCが連結されることで原始RNA遺伝子が形成され(図4)、最終的にDNAに変わった」とする、生命は4つのアミノ酸を使って出来た[GADV]-タンパク質ワールドから生まれたとのGADV仮説に思い当たったのです(図5)。



(図4) 原始RNAの形成



(図5) [GADV]-タンパク質 ワールド仮説(GADV仮説)

GADV 仮説の特長

[GADV]-アミノ酸は容易に原始地球上で合成できる。[GADV]-アミノ酸を繰り返し蒸発乾燥すると[GADV]-ペプチドが生成する、しかも、得られたペプチドやその会合体には触媒活性がある。さらに、遺伝子とタンパク質の間に見られる「ニワトリと卵」の関係については、遺伝子発現の流れを下流から上流に向かって遡るように形成された(化学進化の順と一致)と考えて説明することができるなど、GADV 仮説には、生命の起源にとっていくつもの好都合な特長のあることも確認できた。

GADV仮説から見た生きる意味

最後に、生命の起源に関するGADV仮説から見て、「生きる意味はあるのか」について以下に私の考えを書き述べる。

1. 生命の誕生に至る過程について考えると、原始地球上に[GADV]-アミノ酸が存在したこと。アミノ酸とオリゴヌクレオチドの間の特異的結合を通じて、最初のGNC原初遺伝暗号を確立できたこと。続いて、最初の遺伝子が形成できたこと、生命の誕生に至る経路が存在したことなど**極めて幸運なことの結果**として、生命はこの地球上に生まれることができたのである。
2. また、生命の誕生後、現在に至るまですべての人は**奇跡的な幸運**に恵まれ、この地球に生まれることができた。
3. しかも、私達は色々なことを理解できる**科学の発達した時代**に生まれることができた。
4. しかし、残念ながら私たちを含むすべての地球上の**生命はいずれ死**を迎える。

以上のようなことを考えると、私は(結論としてはありふれたものでしかないが)、

1. 人生の結果を求めることなく、**死ぬまで堂々と生きる**こと。
2. 今、生きている宇宙や地球、生命などをより良く理解するために**できるだけのことを学ぶ**こと。

が重要であり、「生きる意味」なのだと思います。

京都の下宿で語り合った友人の一人は胃ガンで10年前に57歳の若さで亡くなった。その友は、死ぬ直前右手をあげて別れの気持ちを表したという。私も堂々と生き、その時が来れば堂々と死にたいと考えている。

(放送大学奈良学習センター所長、国際高等研究所フェロー、奈良女子大学名誉教授)

参考図書：「GADV仮説 - 生命起源を問い直す -」 京都大学 学術出版会、池原健二著(2006)

第5回
文化サロン
3月3日(土)

生命の起源を熱く語る



お話をされる池原先生

第5回文化サロンは3月3日(土)、大阪市天王寺区の「ホテルアウイーナ大阪」で、23名が参加して開催されました。テーマは「こうして生命は生まれた(GADV 仮説) - 生まれる意味はあるか?」。講師は放送大学奈良学習センター所長の池原健二先生。

12時からの会食、続いて参加者の自己紹介の後、池原先生は生命の起源について、これまでの説を紹介しながらその問題点を指摘し、ご自身が考えた仮説について熱く語られました。続いて、参加者から多方面にわたる質問が出て、時間を忘れる討議が行われました。

こうして生命が生まれた (GADV 仮説) ! — 生まれる意味はあるか? —

放送大学奈良学習センター所長 池原 健二

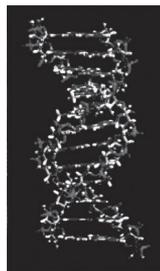
私の研究経歴

私はエンジニアになるため京大の工学部工業化学科に入学し下宿生活を始めた。その下宿で、高校時代の友人たちとよくビールを飲みながら人生や社会について語り合った。その中で、可能なら将来、自然科学の立場から「生きる意味」を考えながら研究ができれば、との漠然とした夢と希望を持った。その思いが私の後の研究生生活を支える基礎となり、50年近く経った現在も失われてはいない。

そのため、卒業研究を行う場として「生物物理」を目指さず若い先生のいる研究室を選んだ。そこでの、回転粘度計の作成とコラーゲンの粘度測定というテーマから私の研究生生活が始まった。その後、運よく機会ある毎に繊維状ファージ fd の再構成に関する研究、細菌をモデルとする細胞分化機構の研究へと、より生命の本質に迫れる研究へと進むことができた。そして、教授として研究室を持てる段階になった時、私自身の研究テーマとして遺伝子、遺伝暗号、タンパク質及び生命の起源に関する研究を行うことができたのです。

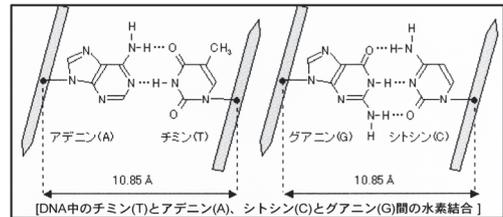
生命の起源研究について

私達の体は約60兆個の細胞で出来ており、その細胞の中に親から受け継いだDNA (デオキシリボ核酸)が存在している。DNAの基本単位はヌクレオチドであり、リン酸、糖、4種類の塩基(グアニン(G)、シトシン(C)、アデニン(A)、チミン(T))から成り立っている。水素結合による相補的塩基対(GC、AT)の形成を通じて、DNAは二重らせん構造をとっており(図1(a)と(b))、DNAの二重らせんは、G-CとC-G(GC対)、A-TとT-A(AT対)の4種類の組合せでできている。遺伝情報を持つ遺伝子(DNA)を鋳型にして、情報がRNA (一本鎖のRNA)

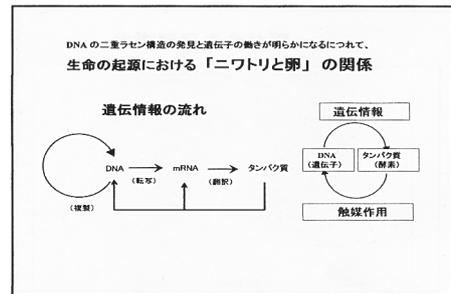


(図1(a)) DNAの立体構造

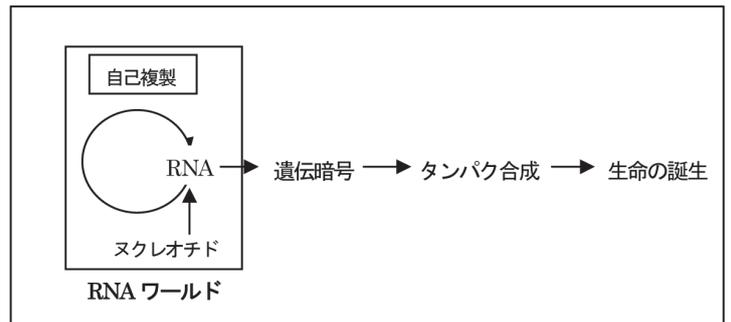
ポリ核酸)に転写され、アミノ酸からなるタンパク質に翻訳されて生命活動が営まれている。すべての生物がこのような仕組みを持つことから、あらゆる生物の「生命の起源」は同じであり、生物進化により現在に至っていると言われている。



(図1(b)) 相補的塩基対形成



(図2) 生命の起源における「ニワトリと卵」の関係



(図3) RNAワールド仮説

第5回文化サロンによせて

生きる意味について

52期 峯村 勲弘さん

あらゆる衆生を救済する心」とある。また天台宗でも「忘己利他(己を忘れて他を利する)は、慈悲の究極なり」と教えている。

このところ天災・人災で「死」を迎える方が多い。いづれも不慮の災難が原因で、「明日は我が身」と思わざるを得ない。過日受講した「分子生物学」の権威で、生命の起源について新説を提唱されている元奈良女子大の池原健二先生は、生きる意味として「奇跡的

は、NHK「心の時代」生きる意味」の対談で、「いまここで自分が為すべきことを為す、それ以外のことはないのではないのかと思う」と結ばれたが、これらの教えと相通じるものがあり、人生の終楽章を迎えている私には、大変参考になった。



ミトコンドリア君、今日もよろしく

「分子生物化学の基礎学習会」に参加して

56期 大野せき子さん

5月13日に阿部百合子先生宅にて、池原先生の文化サロンの講演内容をより深く理解するために行われた「分子生物化学の基礎学習会」に参加しました。阿部先生は52ページに亘る資料をつくって下さり、ポイントを得たお話しに、私がか

つて、新聞等から切り抜いていた医療・化学・スポーツ等の興味深い記事について、さらに考え方を深めることが出来ました。

中でもミトコンドリアについてのお話は、前から関心があったので興味深く聴くことが出来ました。生物

の細胞に広く含まれているミトコンドリアは、体の中で酸素を消費し糖や脂肪を燃やしてエネルギーを生産しているそうです。私は以前から毎朝「ミトコンドリア君、今日もよろしく」と声をかけ、5時過ぎに家を出発。体調に合わ

フェイスブックって大丈夫？

昨年から上田高校関西同窓会の情報発信としてフェイスブックページ(以下FB)を作成し、公開しております。

ところで、FBをまだ使われていない方から「FBに登録するってどうなの？FBを始めてみたいけどうも不安だ」という声を伺っております。

FBは一私企業が無料で提供しているサービスであり、FB自身は利用者に何の保証も提供していません。すべて自己責任で利用するしかありませんが、仕組みとしては十分な安全が確保できるように作られており、過度な心配は必要ありません。以下よくある疑問に対してお答えしていきます。

実名登録って不安

コンピュータの世界はとかくバーチャル(仮想的)ですが、FBは現実の人と人を結びつけるツールです。そのため現実世界のルールと社会生活のマナーでコミュニケーションができるのでむしろ安全です。

個人情報漏えいが心配

FBでは情報の公開範囲(プライバシー設定)を自分で管理できます。デフォルトでは自分が選んだ「友達」にしか公開されません。信

頼できる人のみを「友達」登録しましょう。ときどき友達が何百人もいる人も見かけますが、漏えいのリスクを犯しているように思われます。住所や携帯番号なども登録できますが、これらは登録しない方がいいでしょう。

スパムが心配

スパムとは大量の広告メールなどを一方的に送り付けてくることを言いますが、FBは実名登録が原則であり、正体を隠して大量にスパムを発信することは(原則として)できません。ただし、最近FB上でいろいろなアプリ(使用ソフト)が利用できるようになっており、それらのアプリがスパムのように振舞うこともあるようです。アプリの利用には必ずユーザの同意が必要ですが、よく考えずにOKをすることのないように、慎重に選択する方が良いでしょう。

アカウントを乗っ取られないか心配

私の知っている人で実際に乗っ取られた人がいました。アカウントを守るのはパスワードです。安易なパスワードは絶対につけてはいけません。このことはFBに限らずコンピュータ利

用すべてにおいて共通する注意点です。

使い方がわからない
まずは自分で調べましょう。不親切なようですが、自分で調べる意識を持つことが自分のセキュリティを守る最も良い方法だからです。

不安のある方は登録不要
それでもやはりFBの利用には抵抗がある、あるいはよくわからないので使いたくない、という方もいらっしゃると思います。FBページを見るだけでしたら、FBへの登録は必要ありません。登録しなくても同じ情報を見ることが出来ます。

どうしてもFBに登録し
たくない方は、それでも構いません。登録なしで関西同窓会のページはぜひご覧ください。

(土屋 俊夫)

秋の文化交流会

「平清盛」神戸ゆかりの地を訪ねます



歴史クルーズ船「浪漫号」

今年の文化交流会はNHK大河ドラマ「平清盛」にちなみ10月13日(土)、清盛の神戸ゆかりの地を訪れ散策します。

神戸といえば瀬戸内海という天然の運河に面した良港。神戸の歴史は一方で港としての発展の歴史でもあります。

古くは、「大輪田泊」として始まり、そして「兵庫津」、現代の「神戸港」へとつながっています。

その大輪田泊に港湾施設を整備して日宋貿易を展開したのが清盛です。清盛はまた、近接する山麓の地に大輪田泊を見下ろすように福原京の造営を計画しました。今回の文化交流会は、この大輪田泊と福原京跡を訪れます。

午前は歴史クルーズ船「浪漫号」に乗船

まずJR神戸駅に集合後、徒歩15分の神戸港中突堤ターミナルから歴史クルーズ船「浪漫号」に乗船し、神戸港を遊覧します。六甲の山並みと神戸の高層ビルを楽しみながら大輪田泊にほど近い兵庫運河で一度下船、清盛が出家したとされる能福寺や清盛塚を散策、また大河ドラマに合わせて建設された清盛歴史館などを見学します。帰りは同運河で再乗船し造船エリアなどを見ながら再び中突堤に帰港します。この間、全行程にガイドが同行します。

午後は中華街のレストランで昼食後、タクシーに分乗し福原京跡を訪れます。ここでは、福原遷都のとき安徳天皇の行宮となった荒田八幡宮、そのほか祇園神社、雪見御所跡、熊野神社などの遺跡を、ボランティアガイドの案内で散策します。秋の一日を歴史クルーズ&ウォーク〜でお楽しみください。

参加申し込みは同封の案内チラシの参加申込書によりお申込みください。

【日時】平成24年10月13日(土)

【集合場所】JR神戸線「神戸駅」中央改札口前 9時30分

【会費】6,000円

【行程】午前：歴史クルーズ船浪漫号に乗船し、大輪田泊散策(清盛塚、真光寺、能福寺、清盛歴史館)約2km。

昼食・懇親会：神戸・南京町の広東料理レストラン「鹿鳴荘」にて

午後：福原京跡散策(荒田八幡宮、祇園神社、雪見御所跡、熊野神社など)約3km。

【解散場所】JR神戸駅 17時頃

【参加申込】同封チラシの申込書で9月15日(土)までにお申込みください。



せてウオーキング、時にはスロージョギングも楽しみます。6時半からラジオ体操が終わると帰宅、こんな生活が今年の7月で丸10年になります。
今回、理解が深まることにより、マラソンの藤原新選手がミトコンドリアを意識した練習をしている旨を知ると、私も平凡なトレーニングの連続ですが、わが身分子レベルの変化で体を動かしていることに思い

を馳せ、寒い朝もランルンとはいかない迄も、軽やかな足運びとなります。間もなく後期高齢者、バランスよく老いることを願うこの頃です。

- フェイスブックの安全な利用について
- パスワードは推測されにくいものを選ぶ
- 自分でプライバシー設定を管理する
- むやみに「友達」を増やさない
- アプリの利用は慎重に
- 自分で使い方を調べるようにする

竹内俊隆さん(68期)が『政策研究のためのゲームの理論』を出版



母校の社会講座の講師でおなじみのお大阪大学大学院教授・竹内俊隆さん(68期)が『政策研究のためのゲームの理論』を出版した。国際関係論が専門の竹内さんは、国と国の関係をゲームになぞらえると分かりやすいと説く。「例えば、われわれ日本人は『話し合えばわかる。解決する』とよく言いますが、本当でしょうか。話し合いとは何でしょうか。話し合いを交渉と解釈すれば、交渉の構造を理解する必要がありますのではないのでしょうか。ゲームの理論には交渉ゲームという分野があり、さまざまな公平・公正の基準に基づいて、さまざまな解(解決策)が提案されています」とゲームの理論を使うことによる現実的な解決策が見えてくる

と指摘する。ゲームの理論を国際関係や公共政策などに応用して、問題解決の有効なツールとすることを提案するのが本書である。囚人のジレンマ、チキンゲームなど、具体的なゲームを説明しながら、公共政策などへの応用例を提案する。ゲーム理論と公共政策・国際関係の間に橋を架ける意欲的な書である。『政策研究のためのゲームの理論』ミネルヴァ書房、2011年11月刊 4000円+税
なお、竹内さんは昨年(2010年)から今年にかけて、編者としても図書を2冊出版されている。
・編著『日米同盟論―歴史・機能・周辺諸国の視点』ミネルヴァ書房、2011年11月刊、7350円
・編著『現代国際関係入門』ミネルヴァ書房、2012年4月刊、3675円

関西この人紹介

ありのままの履歴書

73期 武舎 一夫さん

ドイツ語を専攻し

ドイツへ

私は昭和54年慶応大独語・独文学科を卒業後、ドイツ赴任を希望し郵船ロジステイクス社に入社。願いが叶い昭和59年にデュッセルドルフに赴任した。

ドイツの冬は長く辛い。夕方4時には真暗になり、加えて天気も悪い。のんびりと観光という環境ではないが、私のようなオペラ好きには堪らない季節だ。お気に入りの歌手のスケジュールを調べて、週末になると欧州あちこちのオペラハウスに出かけた。

ネット予約のない時代、スター歌手出演演目のチケット入手は困難を極めたが、ハンブルクで全盛期のパヴァロッティの「ボエーム」を見ることができたのは大変幸運であった。

ベルリンの壁

私は約5年半ドイツに滞在した。仕事の関係で、当時東ベルリンにあった東独日本大使館によく出かけた。日本大使館は、ブランデンブルク門から徒歩5分

程度のところにあつたが、当時この門は東独兵士によって封鎖されていた。その為、市内2ヶ所の国境税関まで出向き東独への入国手続きを行うのだが、それだけで半日がかりの大仕事だった。

入国手続きを終了して街に出ると、まずソ連風の無骨でセンスのない建築物が目飛び込んでくる。車道では東独製のポンコツ車トランポが走り、歩道を見ると北朝鮮風の軍服を着た東洋人が闊歩していた。仕事を終え、東ベルリンから西ベルリンに戻るときには、国境駅の免税店で紙巻きたばこ「マールポロ」を買おうが楽しみだった。

そのベルリンの壁も89年11月に崩壊した。崩壊後、東ベルリンのソ連風の主要建築物は殆どが撤去され、かつてのくすんだ古都の面影は現在全く残っていないが、旧国境税関建物は旧東ンパラスト(涙宮)の名前でも残されている。

帰国後も日本と

ヨーロッパを往復

平成2年、本社帰任後まず大手電機会社のドイツ半導体工場建設関係の作業プロジェクトのメンバーとなり、日本とドイツを往復する生活がしばらく続いた。

当時の日本は、世界に冠たる半導体先進国であったが、その後の半導体不況で状況は一変し、大手の電機会社もドイツの半導体生産から撤退してしまった。その後は海外取引先を統括する部門に配属され、海外の未収債権回収に忙殺された。未収債権回収というのは大変な仕事だが、お金の支払いには各国の国民性が如実に現れるのが興味深い。債権回収に手こずつ

た国は、インド、トルコ、韓国といったところだが、ヨーロッパではスイス人が意外と金払いが悪く、定期的な出張が欠かせない国となった。

現在はサンデー毎日、ブログも始める

6年前に郵船ロジステイクス社を退社し、現在はサンデー毎日の日々を送っているが、かつて訪れた懐かしい国々を時間をかけてゆつくりと回ってみたいと考えている。昨年末にブログ「無憂宮の騎士」を始めた。音楽美術関連の記事を中心に掲載しているの

で、興味のある方は一度訪問していただけると幸いです。



1989年12月 イェルサレム オリーブ山にて



信濃路 点描 上田と桜

市の花が

桜になりました

最近、市の花が「さくら」と制定されました。旧上田市では市の木はイチイ、市の花はツツジでした。どうして今？ なぜ桜なのでしょう？

桜は上田に限らず日本各地それぞれに名所や銘木が伝えられ、国花にもなっています。その「さくら」を上田市が独占してしまつて良いのかという思いかられます。

ところが近年、上田城址の「千本桜」や市内の桜の名所が脚光を浴びてきました。さくらが市花になったのは、さくらが市民に親しまれている花と認識されてきたからなのでしょう。

市章も桜をイメージ

また、合併した新生上田市は平成18年告示第一号で「元気で前向きに歩む市民の姿」として、桜の花をイメージした市章を定めました(図1)。なお、旧上田市の市章も桜花と定められていました(図2)。

この様に昔から上田でも桜が身近な存在だったので、「さくら」が市花に制定されたからには市民それぞれが桜を中心に、郷土形成や都市計画推進に環境を整備していこうではありませんか。

(同窓会本部会報委員会 増田幸一)



図2 「桜花に上田」の旧市章



図1 四葉のクローバーを背景に桜の花をイメージした新市章